

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 18-033)

1 台湾とパラオは 90 日以内の滞在を限度として入国ビザを 12 月 1 日より相互に免除

[原文](#)

(22 November 2018, Pacific Note)

2 台湾総統が同国の統一地方選での敗北により、民進党党首を退任

[原文](#)

(25 November 2018, The Straits Times)

3 ナイジェリア領海及びギニア湾で多発する海賊行為により、(ナイジェリア領海は非常に危険な海域と評価され) ナイジェリアから輸出する貨物は 4 年間で 27.4 億 US ドルの割増保険料を支払い

[原文](#)

(25 November 2018, New Telegraph.com)

4 日本の海上保安庁とフィリピンの沿岸警備隊が、マニラ湾において海賊対策合同訓練を実施 (日本がフィリピンに供与した巡視船も参加)

[原文](#)

(25 November 2018, Manila Bulletin)

5 【論説】オーストラリアは、戦略的な観点から、メラネシア地域だけではなく、ミクロネシア地域も重要視すべき (オーストラリアは現在ミクロネシアにのみ大使館を設置しているが、パラオ及びマーシャル諸島にも設置予定)

[原文](#)

(26 November 2018, PolicyForum.net)

6 トンガは APEC の際に一带一路構想について中国と合意後、さらに貿易を拡大へ (バヌアツ、クック諸島、フィジー、サモア、パプアニューギニアも一带一路構想に合意。これらの国々に対し、インフラの整備と貿易の円滑化を中心に、数十億 US ドル規模の計画が展開する見込み)

[原文](#)

(27 November 2018, Radio NZ)

7 APEC の際に、中国とバヌアツが合意した秘密文書は何か？（コンテナ検査機器プロジェクトのための 6,000 万 AU ドルの支援、道路建設のための 7,000 万 AU ドルの貸付、2004 年当時の 400 万 AU ドル相当のバヌアツの債務返済凍結といった内容が MOU に含まれる）

[原文](#)

(27 November 2018, Australian Broadcasting Corp)

[MOU 原文](#)

8 中国の南太平洋における影響の強まりが、オーストラリアを混乱に陥れる（アメリカ、中国、オーストラリアが南太平洋島嶼国において、港湾、サイバーインフラ、潜在的な軍事基地を確保しようと競争する中で、同島嶼国は重要な地政学的地位を占める）

[原文](#)

(27 November 2018, Marianas Variety)

9 オーストラリアは、パプアニューギニアに新たな監視船の 1 隻目を供与（これまで供与した監視船を代替し、今後 5 年間で、12 か国に 21 隻の監視船を供与する予定）

[原文](#)

(29 November 2018, 9news.com)

10 80 名以上が亡くなったキリバスにおけるフェリー沈没事故に関し、同国の独立調査委員会の報告書が警察に提出され、警察が関係者の調査を開始（同報告書は議会に提出されるも未だ議員に公開されていないことを、フェリー沈没事故の地元選出議員（元大統領）が批判）

[原文](#)

(29 November 2018, Radio NZ)

11 「キリバスの基金（sovereign wealth fund）がアメリカと中国の貿易戦争の影響により 2,000 万 US ドルを失った」とキリバス財務相が 2019 年の国家予算発表に合わせて発言（一方で、同国の 2015–2017 年の GDP 成長率の平均は、入漁料収入やドナーからの支援により、5%を記録しており、2009–2014 年の 1.5%を上回る。また、海上安全、治安の強化のため、新たに監視船乗員を 25 名確保するための予算を計上）

[原文](#)

(30 November 2018, Radio NZ)